

2022 年秋学期 セルカーク大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

テストでレベル分けされてそのクラスで授業をしました。

わかりやすく、丁寧に教えてくれる。わからない時はわかるまで教えてくれた。ゲームやクッキングもたまに授業中にあり、本当に楽しかった。

初めにテストを行い、レベルごとのクラスに分かれて授業をしていました。10人程度の少人数のクラスで、質問などもしやすく、とても楽しい雰囲気でした。

教科書を基盤とした講義型の授業。宿題の量はレベルと先生によって異なり、かなりその差があったように感じる。質問やわからない部分は授業内で消化しやすい雰囲気だった。

リーディングやグラマーのクラスでは、各チャプターを終えるごとにテストをしていた。

対面授業で実施され、進め方は先生の都合によって変化していた。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

8割日本人でした。ケベック、中国、韓国などの国の人がいました。

クラスはだいたい15人くらいで、中国人、韓国人、台湾人の方など、アジア系が多かった。そのうち日本人は約半分だった。

ほとんど外大の日本人でした。そこに韓国人2人、中国人2人、タイ人1人、といったような比率でした。

クラス編成はレベル別になっていましたが、どのクラスも8割が日本人で構成されていた。留学生の出身国は中国、韓国、コロンビア、ペルー、ケベック州だった。

各レベル10人いないくらい。8割日本人。中国、日本、韓国、タイ。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

クラスメートと話し合いながらする授業が多く、日本の授業のように先生の話を一方向的に聞く授業はなかったです。

誰もが授業に参加して、毎授業発表していた。日本とは違い、遊び心がある授業が多かった。遊びばかりではなく、やる時はしっかりと集中した。

日本の授業は人数が多く、質問などもしにくい固い感じの雰囲気ですが、先生もフレンドリーで会話をしながらすすめていくような、アットホームな雰囲気でした。

アットホームで基本的にコミュニケーションを重視した雰囲気だった。生徒に対しても拘束的でなく、一人ひとりの個性や考えを尊重してくれる先生ばかりだった。

日本よりももっと気楽な感じで、授業中に飲食も可能。また少人数のため、発言もしやすい。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

SDGs

エッセイを書く授業では基本的に自分の興味のある分野や時事問題を取り上げることができたので、社会的な問題について調べ、知る機会になった。
(ジェンダー問題、電気自動車、美容整形など)

地震について話した時、日本以外の中国や、韓国、カナダの国に住んでいる人は地震を体験したことがなかったこと。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことは何ですか。

わからない単語が出てきた際にはすぐ先生に聞いていました。

1 授業に 1 回以上は発表すること。日本語を話さないこと。

分からないことは聞く、しっかりと発言を進んで行うことです。

授業中に理解できなかった部分の復習。特に初めて聴いた単語や専門的な単語はすぐにメモしてできる限りその場で軽く調べて、復習の時に深く理解するようにした。ホームステイ先に同じ授業を取っているハウスマイトがいたので、授業内で使うトピックについて聞いたり一緒に宿題をしたりして助けあった。

とにかく発言すること。日本語をださないこと。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
1 人	ベネズエラ、ペルー
2 人	韓国、ケベック州
2 人	中国、コロンビア

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
バス	15-30 分	ホームステイ先
バス	30-45 分	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。

ベッド、ダンス、机、いす

ベッド、机、椅子、引き出し、テレビ、バスタオル、洗濯洗剤

ベット、クローゼット、ライト、ハンガー、ゴミ箱、机

勉強机、椅子、寝具。大きめのクローゼットがあった。

ベッド、クローゼット、机、椅子、鏡、ダンス

自分で用意したものは何ですか。

服、ドライヤー

歯磨きセット、シャンプー、リンス、ボディソープ、ハンドタオル、

スリッパ、服、水筒

ブランケット

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

お風呂の時間が限られている。

美味しいが、ピザや、パスタ、パンなどの食事が多かった。一回の食事の量が多い。

食事、風呂、休日の過ごし方、就寝時間の違い

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストファミリーに事前にルールを細かく聞いておく。からなかったら聞く。

ホストファミリーと仲良くなったら本当に楽しいと思います。積極的に話しかけるべきです。

日本食(レトルトやカップ麺など)を持参すればよかったですと思いました。やはりどうしても、海外のご飯食べばかりを食べていると日本のご飯が食べたくなるので、その時にレトルトの味噌汁などを持参しておく、息抜きになります。また選択がすぐにできないので、リセッシュやコロコロを持参しておくべきです。

お互いにリスペクトし合うこと。積極的にコミュニケーションを取ること。

パソコンは 持参しましたか	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。
はい	LAN ケーブルで可能
はい	ワイヤレスで可能

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本から SIM カードを持参
はい	留学先で SIM カードを購入
はい	日本の携帯をそのまま持参

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

授業終わりにジムに行った。10月中旬には、学校主催の留学生限定の2泊3日の旅行にいった。毎週のようにたくさんのイベントがあった。

私の大学はクラブがありましたが、帰る時間のバスがないので、誰も参加することができませんでした。ただ、学校が計画するイベントは週末にあることがあったので、それに参加し、楽しむことができました。

放課後は大学のジムを利用したり、カフェテリアで勉強したりした。週末はハウスメイトと買い物に出かけたり料理をしたりした。

パートナーシップというセミナーを取っていたので、スピーキングパートナーと出かけたりしていた。

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

大学内にジムがあったので、そこでバドミントンやバスケットをして遊んでいました。またカフェテリアでみんなでお話したり、宿題をしたりしていました。

ファストフード店(マクドナルド、A&W)、映画館

カフェテリアで話す。体育館を利用する。カフェに行く。買い物に行く。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
日常生活で使える英語を学ぶ
留学先の歴史や文化について調べる。ホストファミリー決定後は連絡を多く取り、必要最低限の荷造りを心がけた。
日常会話の表現を重点的に覚えた。

留学前にしておけばよかったと思う準備
よく使うフレーズの勉強
飲食店で聞かれる基本的なこと。
留学先の歴史や文化について調べる。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
日本食、ハイチュウ
抹茶のキットカット
折り紙、手作りしたペンダント
生理用品、スキンケア類、ブーツ、ドライヤー、

日本から持っていく必要のなかったもの
衣類(持って行った服の量が少し多すぎた)
シャンプー、リンス、余分な夏服、フォーマルな服、バスタオル、

日本から持参すればよかったと思ったもの
ホストファミリーにとっては私たちがはじめて受け入れた人だった。また、お箸が大好きだと言っていたのでお箸をお土産に持って行ってあげればよかった。とても乾燥していたので、ハンドクリームも必要だと思った。
ココロコ、ファブリーズなど、日本食
スリッパ

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。
クレジットカード
クレジットカード 2 枚と現金
キャッシュパスポート、クレジット、現金
現金、クレジットカード、デビットカード
デビットカード、現金

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

通学費 125 ドル、テキスト 300 ドル

テキスト代が約 200 ドル、通学費が 125 ドル

テキスト代約 1 万円、通学費 12,000 円

テキスト代 3 万—4 万 通学費 1 万

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

学校主催の旅行で 400 ドル、お土産に約 1000 ドル、ご飯代に約 1000 ドル？ 欠航になった時の交通費 50 ドル、食費 5000 ドル

服 2 万—3 万 お土産 3 万

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

会話が少し上がった

コミュニケーション能力は上がったと思います

はじめはホストファミリーの日常会話が早く、聞き取ることに必死でしたが、暮らしていくなかで聞き取れるようになり、意思表示もできるようになりました

教科書英語ではなく、コミュニケーションの取れる英語に上達したと感じる。Yes/No だけではなく理由や根拠などその先の自分の考えまで言えるようになった。

日本語よりも、英語で話す方が話しやすく、社交的になれる。

少しは伸びた気がする。しかしまだ流暢とは言えない

留学前の目標とその達成度

前の目標は英語を喋れるようになることでしたが今はなんとなくなら喋れるようになったと思います。

語学力を向上させるとともに現地の人と積極的に交流し、生活や文化を直接学ぶ。しっかり達成できた。

とにかくミスを恐れず、話す。

留学を通しての成長ポイント

怖気付かない行動力とコミュニケーション力

リスニング力が一番身についたと思う。また留学前よりかは、頭の中で日本語から英語に変換することなく英語を話せるようになったと感じる。

知らない人と話す能力

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

モチベーションは、さらに上がりました。

実際に英語を使うことの大切さがわかりました。

留学前は完璧な英語を話すことが何よりも重要で最終段階だと考えていたが、留学中・留学後と様々な背景を持つ人と交流したことで英語を話すことは意思疎通の手段にすぎないと感じるようになった。そのため、英語力を伸ばしつつも自分の知識量を増やすことを心がけた。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

友達と仲良くなりたいと思い話しかけに行った時

学校のイベントでいろんな生徒と喋った時です。

帰国予定の便が2回キャンセルになり、その都度宿泊先や空港で現地の人と話したり交渉したりしたとき。自分達の質問や要望を簡潔に相手に伝え、なんとか乗り越えることができた。これまでの人生で最も大変な時間だったが、間違いなく成長できた機会になった。

ネイティブ5人と出かけた時に今がチャンスと思って、積極的に話しかけたり、質問したりしたこと。

ホストファミリーとの会話

留学先大学の良かった点

先生方がとても親身的で、授業外でも進路の相談などいろいろな話をする事ができ、将来について改めて考える機会になった。

メンバーも先生たちもとても良かった。

先生がよかった。